

## 就任4期目のご挨拶

# 「目配り 気配り 思いやり」をもって 人を活かし 産業を活かし コロナ前より元気な小平町を次世代に引き継ぎます

## 小平町長 関 次 雄

4期目の町長就任にあたり、町民の皆様にご挨拶申し上げます。

平成22年11月町長に就任以来、これまでの12年間多くの町民の皆様方から温かいご支援を賜り、4期目の町政を担当させていただくこととなりましたことは誠に光栄であり、町民の負託に対して改めて強い責任を感じております。

これまで掲げました基本的施策を一意専心取り組み、それらの成果について一定のご理解をいただけたものと感じておりますが、任期後半には新型コロナウイルス対策に追われたこともあり、私のまちづくりは道半ばと捉えております。

この4年間を最後の仕事とやり遂げ、次世代に引き継いでいくことが私の使命だと感じておりますので、これまでの3期12年間を礎に、今後の任期は町政運営責任者として更なる町政発展のため精力的に取り組んでまいり所存であります。

それでは、4期目の町政運営に臨

むにあたって、施策の考え方について申し述べます。

最初に地域産業の振興であります。町の基幹産業である農業・漁業であります。後継者問題や労働力不足、更には漁場環境の変化など、一次産業を取り巻く環境は楽観できる状況ではありません。

こうした中、農業にあつては、水田活用の直接支払交付金の見直しなど大きな転換期を迎えておりますが、圃場の大区画化やIT化によるスマート農業を推進するため、大規模経営や機械の大型化をすすめ、鳥獣被害対策として電牧柵の更新を実施してまいります。

畜産につきましては、現在、第2期工事を進めております「おびらら牛繁殖センター」整備について、来年度をもって一度、立ち止まることとしたところであります。繁殖雌牛の一元集中管理体制を確立するためデジタル技術を活用し、畜産農家の労力軽減や所得向上につながる生

産体系の強化に努めてまいります。

また、漁業にあつては、鬼鹿漁港においては昨年度から岸壁の整備が始まり、白谷漁港ではホタテの共同利用施設の整備を本年度から2カ年計画で実施しておりますが、猛暑の夏場や厳寒期などの健康管理、加えて衛生上、効率性を発揮するには、就労環境の改善が必要でありますので漁港内のトイレ整備を進めてまいります。

次に商工業・観光についてであります。

近隣の大型店舗、共同購入、宅配サービス等、住民の消費ニーズが変化している中、ウクライナ情勢に伴う原油などの価格の高騰や最近の円安など、今年に入って物価が上昇するインフレが世界的に進んでおり、物価高騰に苦しむ家庭と事業者双方への支援を実施し、商工業の活性化に努めてまいります。

観光振興につきましては、各観光施設と一層の連携を深め、コロナ禍

に対応したスタイルによるサービスや情報提供を図りながら、観光客に魅力を伝える運営方法について指定管理者とも連携し向上施策を実施してまいります。

次に子ども・子育て支援であります。

これまでと同様、子育て環境の充実を図ることが重要であると考えているため、これまで実施してまいりました乳幼児医療費の全額助成や子育て世帯への経済的支援、仕事と子育ての両立支援など、子育て世帯への切れ目のない支援体制の充実を図ってまいります。

また、子どもたちが安心して楽しめる公園づくりを進めていくには、町内各所にある公園遊具の安全性を確保しなければなりません。すでに進めておりますが、安全性を心配する保護者の方々の声をしっかりと受け止め、古くなった公園遊具においては新たな公園遊具を設置し、保守点検のあり方についても今一度見直すなど、公園の環境整備を進めてまいります。

次に高齢者対策であります。

高齢者の方が、可能な限り住みながら地域でいきいきと自立した生活ができるように、各種健康づくり事業や介護予防事業の充実、老人クラブ活動に対する支援などの生きがい対策を推進し、健康寿命の延伸に努